

令和 5 年兵庫県における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生について  
【県管轄分】

【症例 1】

- |   |          |                      |
|---|----------|----------------------|
| 1 | 患者       | 80 歳代、女性、赤穂健康福祉事務所管内 |
| 2 | 発病年月日    | 令和 5 年 4 月 5 日       |
|   | 初診年月日    | 令和 5 年 4 月 7 日       |
|   | 診断年月日    | 令和 5 年 4 月 12 日      |
| 3 | 症状       | 発熱、神経症状、血小板減少など      |
| 4 | 現在の状況    | 入院中                  |
| 5 | 感染経路     | 調査中                  |
| 6 | その他      |                      |
|   | 4 月 7 日  | 起立障害で救急外来を受診、同日入院となる |
|   | 4 月 12 日 | PCR 検査の実施、「陽性」判明し届出  |

【症例 2】

- |   |          |  |
|---|----------|--|
| 1 | 患者       | 20 歳代、男性、加東健康福祉事務所管内                   |
| 2 | 発病年月日    | 令和 5 年 5 月 26 日                        |
|   | 初診年月日    | 令和 5 年 5 月 26 日                        |
|   | 診断年月日    | 令和 5 年 5 月 31 日                        |
| 3 | 症状       | 発熱、全身倦怠感、血小板減少など                       |
| 4 | 現在の状況    | 入院中                                    |
| 5 | 感染経路     | 調査中                                    |
| 6 | その他      |  |
|   | 5 月 26 日 | 発熱等を認め、医療機関 A を受診                      |
|   | 5 月 29 日 | 医療機関 B で採血し、血小板減少を認め、<br>医療機関 C へ入院となる |
|   | 5 月 31 日 | PCR 検査の実施、「陽性」判明し届出                    |

【県の対応】

- 1 県民への情報提供と注意喚起
  - ア 県医師会等関係機関へ情報の提供及び疑い患者の情報提供を依頼
  - イ 関係市町へ情報提供を行うとともに、関係機関等への注意喚起を依頼
  - ウ 県ホームページによる注意喚起
- 2 疑い患者に対する検査の実施

## 全国及び兵庫県における SFTS 発生状況

(人)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30
兵庫県	2	—	—	—	1	—
全 国	48	61	60	60	90	77

区分	R1	R2	R3	R4	R5
兵庫県	1	—	<1> 2	2	4
全 国	101	78	110	118	133※

他県への届出は、< >で内書きした。

※令和 6 年 1 月 15 日現在の速報値（感染症サーベイランスシステムより）

- 国内では平成 25 年 1 月に初めて SFTS 患者が確認された。
- 兵庫県内では平成 25 年 7 月に豊岡健康福祉事務所管内で 2 名（うち 1 名死亡）、平成 29 年 7 月に赤穂健康福祉事務所管内で 1 名、令和元年 7 月に赤穂健康福祉事務所管内で 1 名、令和 3 年 6 月と 8 月に豊岡健康福祉事務所管内で各 1 名、令和 4 年 6 月に赤穂健康福祉事務所管内で 2 名、令和 5 年 4 月に赤穂健康福祉事務所管内で 1 名、神戸市保健所で 1 名、令和 5 年 6 月に加東健康福祉事務所管内で 1 名、令和 5 年 7 月に姫路市保健所で 1 名の患者が確認され、合計 12 名となった。